

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川ファーマーズセンター
	所在地	あきる野市二宮 8 1 1 番地
	所管課	環境農林部農林課農政係
指定管理者	名 称	秋川農業協同組合
	所在地	あきる野市秋川三丁目 1 番地 1
	業務内容	市内農業者が生産した良質で新鮮な農畜産物等の販売業務 農畜産物等の販売促進に関する業務 農畜産物等の計画的生産に関する業務 地域産業との相互協力による販売業務 農業従事者の相談に関する業務 市民農園の管理に関する業務 センターの維持管理に関する業務 その他市長が必要と認める業務
ホームページ URL		http://www.ja-akigawa.or.jp/shiten/tennpo/fc.htm
指 定 期 間		令和 6 年 4 月 1 日から令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで

2 施設の利用状況等について

項 目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開館等日数（日）	357	356	356	356	358
利用者（来客者） 数（人）	252, 265	246, 386	245, 152	248, 051	237, 378
前年度比（人）	6, 107	△5, 879	△1, 234	2, 899	△10, 673
前年度比（％）	102. 5	97. 7	99. 5	101. 1	95. 7
利用料金（売上） 合計（千円）	422, 395	442, 317	467, 040	468, 866	473, 238
前年度比（千円）	7, 005	19, 922	24, 722	1, 826	4, 372
前年度比（％）	101. 7	104. 7	105. 6	100. 4	100. 9

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項 目		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	使用料収入 （売上）	270, 355	333, 372	353, 915 4	343, 909	352, 756
	自主事業収入	152, 040	108, 945	110, 271	122, 246	117, 184
	その他の収入	0	0	2, 854	2, 711	3, 298
	計	422, 395	442, 317	467, 040	468, 866	473, 238
支 出	人件費	32, 973	47, 739	54, 019	45, 585	51, 700
	維持管理経費	23, 008	17, 261	16, 179	16, 750	17, 073
	自主事業 関係経費	373, 029	389, 207	437, 326	432, 271	407, 766
	その他の支出	11	0	1, 810	1, 645	1, 676
	計	429, 021	454, 207	509, 333	496, 251	478, 215
収支（収入－支出）		△6, 626	△11, 890	△42, 293	△27, 385	△4, 977

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合がある。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
店舗内にアンケート用紙及び回収箱を設置して、利用者の様々な意見・要望を把握し、運営委員会を通じて生産者会員へ周知しています。お客様のニーズに対応できる店舗作りを行い、店舗運営全般の質の向上を目指しています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
利用者からは、良い意見として「いつも美味しく食べている」「新鮮な野菜が揃っている」等の意見が多くあります。一方、苦情等としては、「以前に比べ出荷量が減少している」「午後には商品がない」等の意見があります。対応としては、JA 間流通や特産品の仕入等による仕入商品の充実を図り対応しています。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
陳列台へ調理レシピや商品説明の POP の設置、二十四節気の POP も設置し関連した商品の購入を促している。また、地場産野菜を使用した加工品の商品化をしています。学校給食へ野菜の出荷を積極的に行い、地場産利用率の向上に寄与しています。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
・「レジ袋の有料化」による消費資源の削減に努めてました。 ・あきる野市と協議しながら、照明機材の LED 化を進めました。 ・仕入商品の商品ロスの軽減に努めました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
今年度の売上は、前年度と比べ微増ながら、光熱費・管理費等の高騰があり、収支は厳しい状況にあります。利用者数の大幅な減少は、繁忙期での駐車場確保の問題、夏季期間の店内温度の上昇の問題等様々ですが、店内温度については、センター屋根に放水を行い店内温度を下げる対策を行いました。

7 所管課による総合評価（太枠に S～B の 3 段階で評価を記入）

市民サービスの向上		
陳列台に調理レシピや商品説明の POP 及び二十四節気を活用した POP を配置し関連商品の購入を促進した点は、消費者の選択を支援するとともに利便性の向上と地域消費の活性化に寄与しており、市民サービスの質向上に資すると評価する。引き続き、創意工夫を行い、更なるサービスの向上を図ってみたい。		
経費削減の取組		
物価高騰や原材料費の上昇が続く厳しい状況下において、仕入商品のロス軽減に継続的に取り組んでいることは、無駄な支出の抑制及び資源の有効活用という観点から重要であり、経費削減と事業の安定化に大きく寄与していると評価する。今後も効果的な管理手法の定着とその展開を期待する。		
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価		
現場課題を認識しセンター屋根に放水を行い店内温度を下げる対策など柔軟な対応を実施している点で評価できる。収支改善と利用者回復を持続的に実現するため、光熱費・管理費等の高騰に対し省エネ運用や照明機材の LED 化に取り組むとともに、適切な人員配置等を行うことを期待する。		
	総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。